

背景・目的

我々は、今の不自由で無駄の多い研究環境を改善して研究の民主化を実現していくために、研究リソースのシェアリングプラットフォーム構築を進めている、元々研究をしていたメンバーで構成されたスタートアップです。今回、国内最多の研究機関数、東京からの良好なアクセス、というつくばの利点を生かし、訪問利用形式での設備・ラボ利用を促進します。そのための障壁となる課題を解決するため、弊社シェアリングサービスの機能開発、および、他機関・個人との連携を進めます。

特に、現在需要が高く供給が追いついていない、ラボスペースの短期間利用や、ドラフト、インキュベータなど、実験に不可欠な場の共用化を推進します。また、共用化されている装置の情報が潜在顧客に届いていない状態を解決するため、共用機器のデータベース化やPRを進めます。

実験内容

つくば市にある各研究機関および企業の設備と技術を登録し、研究開発リソース及びそれを広められるインフラを提供することで、各研究開発組織の間の障壁を減らし、使いたい技術をより手軽に、安心して使えるよう、以下のことを試みました。

- 他機関との連携の試み（筑波大学、TGI、NIMS、AIST (TIA)、TLSK)
- つくば及び関東の紹介可能設備情報のwebへの掲載
- リスティング広告やメール、イベント（tsukuba startup day）等による関東圏内に対する宣伝
- サービスのUIUXの改善実施
- 損害賠償保険の設計・導入
- レンタルラボスペースの確保・確保手法確立
- レンタル・中古販売・実験委託機能の追加
- アンケートによるフィードバック獲得

実験設備シェアリングサービス機器一覧



実験結果

今回のトライアルにより、より研究リソースをオープンにしやすくなる、損害賠償保険サービスと、レンタル・中古販売サービスを新たに開発・実装することができました。また、他機関との連携については、協定締結等まではできなかったものの、つくばおよび関東にある利用可能な設備をリストアップして紹介できる状態を作り、更にその一部をweb上から探索・申込みできるようにしました。更に、供給が足りていなかった、短期利用できるバイオ・化学系のラボを提供できる手段について確立いたしました。これらの実施内容についてのアンケートでは、保険サービスの有用性及び提供者へのメリットの重要性が示唆されました。

損害賠償保険サービス導入



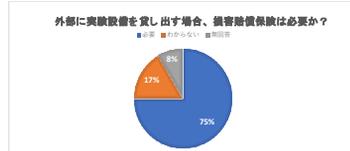
レンタル・中古販売機能実装



ベンチャーのラボシェア



設備シェアリングに関するアンケート



設備提供の妨げとなる要素は何か？

| 妨げ内容 | 割合 | 致命的妨げ | 致命度 |
|---------------|----|-------|------|
| 秘密情報漏えいリスク | 7 | 3 | 43% |
| 設備稼働の時間 | 4 | 1 | 25% |
| 設備提供時の教育の手間 | 8 | 1 | 38% |
| 設備提供時の設備破損リスク | 8 | 4 | 50% |
| 提供によるメリットの小ささ | 4 | 1 | 100% |
| 知財リスク | 5 | 3 | 60% |
| 設備提供スキームの不存在 | 3 | 2 | 67% |

今後の展望

上記成果を活かし、現在まだオープンになっていない研究設備を更にオープンにしていくとともに、今回実施できなかった実験設備活用のためのハッカソン等のイベントも行き、研究リソースをシェアする文化をつくば市に根付かせ、つくば市の可能性を最大限引き出せるよう、今後も微力ながら尽力していきたいと思っております。

実現へのロードマップ

